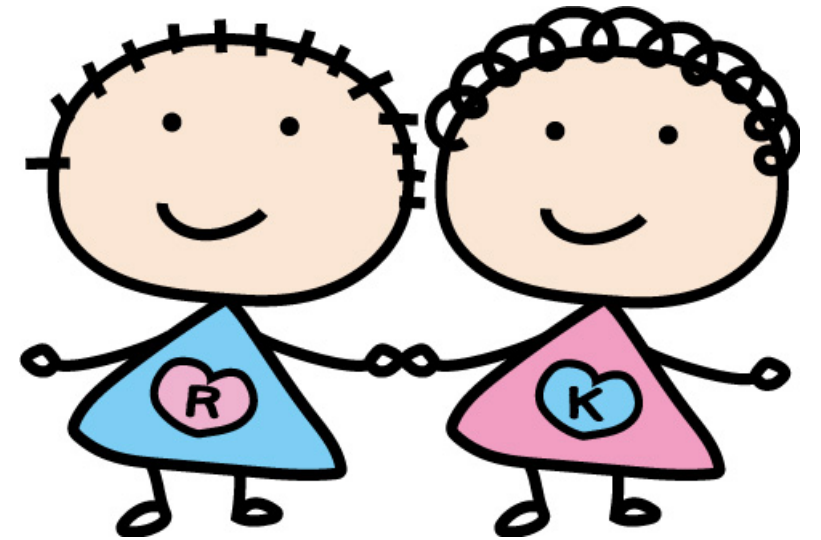


医療法人社団研精会  
稲城台病院



---

51年目のアクションプラン  
～ REFORMATION 2016～

# 目次

---

- ① 研精会グループ理念
- ② 稲城台病院を取り巻く環境
- ③ 稲城台病院の果たすべき役割
- ④ 51年目のアクションプラン ～REFORMATION 2016～

# ① 研精会グループの理念

---

- 精神障がい者、高齢者の方々のために心のこもった医療・介護・福祉を提供します。
- 職員一人一人をかけがえのない大切な仲間として守り、育む組織であり続けます。

## ② 稲城台病院を取り巻く環境

- ・稲城市では引き続き人口が増加する予想。病院周辺は急速に宅地開発が進んでいる。
- ・一方で、「ベビーブーム世代」の高齢化に伴い、高齢者の比率が高まっている。当院入院患者の平均年齢も高齢化している。
- ・新薬開発により統合失調症患者の平均在院日数は短縮化
- ・「病院から在宅へ」の流れは、精神科医療/高齢者医療・介護の領域にも確実に広まっている。
- ・精神障がい者に対する在宅での支援体制の強化は不可欠
- ・高齢化した精神障がい者に対する制度上のサポート体制が不十分である
- ・将来的に、病棟での受入患者は「救急・急性期・回復期」ないし「重度かつ慢性期」医療が必要な患者のみとしなければならない。

# ③ 稲城台病院の果たすべき役割

## (1) 地域に開かれた医療センター

- ・精神障がい者、高齢者の方々のための「地域に開かれた医療センター」でなくてはならない。
- ・「精神障がい」、「老い」に関して様々な困難をお持ちの方なら、誰でも利用できる医療センターでなければならない。
- ・稲城台病院の現状や取組み、今後の計画について、あらゆる人にとってオープンでなければならない。

## (2) 大規模多機能な医療センター

- ・稲城台病院:418床を抱える大規模施設(さらにはヒルトップロマン:195床が隣接)
- ・私たちは、「精神障がい」、「老い」で悩んでいる方にきめ細やかなサポートを提供しなければならない。
- ・南多摩医療圏における地域包括ケアシステムにおいて中心的役割を果たさなければならない。

## (3) 教育センターとしての稲城キャンパス

- ・東京南看護専門学校を擁する稲城キャンパスは、研精会グループの人材育成拠点としての役割を担う。

# ④51年目のアクションプラン ～REFORMATION 2016～

---

- ① 精神科医療に関する取組み
- ② 認知症ケアに関する取組み
- ③ 内科医療に関する取組み
- ④ 環境整備
- ⑤ 組織力強化に関する取組み

# (1) 精神科医療に関する取組み

- 外来機能の強化：外来担当医師を重点的に配置し、外来のキャパシティ増大(2016年4月)
- 「地域移行機能強化病棟入院料」算定についての検討開始(2016年度中に決定)
- 近隣医療機関・クリニックとの連携を強化し、医療のすみ分けを進める
- 1病棟を一部休止し、看護職員をアウトリーチ担当として適正配置(2016年6月を予定)
- デイケアを開始(2016年7月を予定)
- 精神科訪問看護を開始(2016年7月を予定)
- 精神科訪問診療導入について検討開始(2016年度中)
- 4病棟にて「精神科急性期治療病棟1」を算定開始(2017年4月を予定)
- 退院後患者の支援体制の強化。グループホーム開設を検討(社会福祉法人新樹会)
- 地域の家族会・作業所等との連携強化
- 措置入院の受入開始(2019年度を予定)

## (2) 認知症ケアに関する取組み

---

- 認知症治療病棟(\*)の開設及び東京都認知症疾患医療センターの指定(2015年10月)
  - \* 精神症状および行動異常が特に著しい重度の認知症患者を対象とした、急性期(2か月)に重点を置いた集中的な入院治療を行うための病棟
- 当該病棟入院時から早期にリハビリテーションを開始し、症状の軽減を図る(認知症患者に関する「精神科作業療法」の算定件数を増加させる)
- 介護老人保健施設ヒルトップロマンにおける認知症専門棟との連携強化
- 物忘れ外来を開設(2016年10月予定)
- 認知症初期集中支援チームへの参加(2017年4月)



# (3) 内科医療に関する取組み

---

- 精神合併症患者の受入及び退院支援を強化
- 必要医療機器の増強を含め、急性期患者の受入体制を確保(2016年度中を予定)
- 退院支援のためのリハビリテーション強化。理学療法士の増員(2016年度中)
- 一部病床を地域包括ケア病棟/回復期リハビリテーション病棟に変更することについて検討開始(2016年度中に決定)
- 主に高齢者向けの内科外来の開始(2017年1月を予定)
- 内科訪問診療を開始(2017年4月を予定)
- 在宅で急性増悪した高齢者等の受入体制の確保
- 健診センターとしての機能を付加(2016年度中を予定。物忘れスクリーニング含む)

## (4) 環境整備

---

- 稲城台病院へのアクセスを改善:送迎バスルートの新設・変更(2016年7月を予定)
  - ①若葉台・はるひ野巡回コース(10分～20分毎運行):京王相模原線、小田急線利用者
  - ②府中・南多摩コース(運行本数は検討中):京王線、南武線、武蔵野線利用者

⇒アクセスバスは、稲城台病院外来棟前、ヒルトップロマン正面玄関及び稲城台病院デイケアルーム前に停車
- 外来棟入口を自動ドア化・バリアフリー化
- 外来棟1階手洗所のリニューアル
- 休止する1病棟の使用方法の見直し

# (5) 組織力強化についての取組み

- 「研精会人の心得」(研精会フィロソフィ)の制定
- 特定医療法人化(2016年度中の承認を目指す) ～職員が働きやすい環境の整備を進める～
  - －就業規則の見直し:育児中の職員への支援強化、週休2日制の導入
  - －給与規程の見直し:明瞭な給与システムに変更
  - －人事評価制度の制定
  - －各種業務マニュアルの新設・見直し
  - －内部通報制度の整備
  - －人材育成制度の整備(質の高い医療人の育成)
- ホームページ・Facebookページの充実による広報活動の強化(進行中)
  - 「[研精会](#)」で検索！！
- 職員向け託児所の受入態勢の強化(2016年4月より)